

大学で「障害」を考える。

これには学問や専門的な知見・実践、そして生活の中で自然に考えるなど様々な方法があり、「障害」が多様であるように考え方や方法も多様です。

DRC セミナーでは、「障害」について「知りたいことや考えたいこと」、「知ってもらいたいことや考えてもらいたいこと」をテーマにして、このような営みを大学の日常・文化のひとつにしたいと考えています。

内容：

『アダプテッド・スポーツ』を知っていますか？

一般的に『スポーツ』というと、プロスポーツやオリンピック、体育の授業からレクリエーション、又は体調管理や健康増進など、幅広く思い浮かべることでしょう。スポーツが得意、不得意という話題もよくあがります。

しかし、好き嫌い・得意不得意に関わらず、スポーツを行うにあたって何らかの障害 (Disability) があることにより、多くの人と同じようにスポーツができない場合があります。

誰もがスポーツを楽しむとは、どういうことでしょうか。

セッションやアダプテッド・スポーツ体験を通して、考える機会としたいと思います。

#6 誰もがスポーツを楽しむこと — アダプテッド・スポーツ体験を通して考える

京都大学大学院人間・環境学研究科 助教 江川 達郎先生

日時：2024年2月15日(木) 14時00分～16時30分 [13時45分 受付開始]

場所：【受付・セッション】京都大学 法経本館 (1階) 法経第十一教室

【体験】京都大学 総合体育館



<法経第一教室 所在地>

対象：京都大学の学部生・大学院生、教職員 (定員 20名)

申込方法：

2024年2月8日(木) までに下記 Google フォームにてお申し込みください。

<https://forms.gle/HjL9BbucsXgjpEEW9> (下記 QR コードからもアクセスできます)

※ 参加にあたって配慮が必要な場合は2週間前までに申込フォームにてその旨お知らせください。

※ 定員に達した場合、期間中でも申込を締め切る場合がありますのでご了承ください。

備考：

- ・運動のできる暖かい服装でお越しください。
- ・上履きをご持参ください。

問い合わせ先：

京都大学 学生総合支援機構 障害学生支援部門 (DRC)

電話：075-753-2317 メール：drc@mail.assdr.kyoto-u.ac.jp



<参加申込用 QR コード>